

公共事業事前評価調書

評価調書作成者 [漁港漁場整備課長 緒方 誠]

事業プロフィール

【 事業概要 】

ふりがな 事業名	すいさんりゅうつうきばんせいびじぎょう(けんかんりぎょう) (すいさんりゅうつうきばんせいびじぎょう) 水産流通基盤整備事業(県管理漁港) (水産流通基盤整備事業)
ふりがな 地区名	うしぶか 牛深地区
事業箇所	天草市牛深町後浜他地内
事業担当課(室)	農林水産部 漁港漁場整備課 (計画班 内線5707)
事業期間	令和3年度 (2021年度) ~ 令和7年度 (2025年度) (5年間)
総事業費	833百万円 (うち県費 375 百万円)
事業内容	-5m後浜岸壁(屋根)L=200m 【岸壁屋根の整備】 -5m台場岸壁(改良)L=75m 【漁業取締船の係留場所の整備】 -3m台場岸壁(改良)L=230m 【岸壁の嵩上げ】 -2m物揚場(改良)L=90m 【浮体式係船岸の設置】 浄化施設改築 1式 【脱臭施設の整備】
事業目的	本地区は、県内唯一の第3種漁港として、多様な魚種を捕る、漁船漁業やマダイ、ブリ等の魚類養殖漁業が盛んである。 荷さばき所前の屋根がない岸壁では、陸揚げ作業時に降雨や直射日光、鳥類の飛来等の影響を受け、水産物の品質低下や作業環境の悪化を招いている。このため、岸壁に屋根を設置して水産物の品質向上及び作業の安全性・効率性を確保する。 漁業取締船の係留場所が少なく、止むを得ず防波堤に係留されており、漁船の出入港等に支障をきたしているため、漁業取締船の係留場所を整備し、漁業活動の安全性・効率性を確保する。 台場地区の岸壁は、大潮時に浸水し安定して利用ができないため、岸壁の嵩上げを行い、作業の安全性・効率性を確保する。

【 現況写真 】

写真① 陸揚げ状況



写真② 鳥類の飛来状況



写真③ 取締船の防波堤係留状況



写真④ 大潮満潮時の岸壁浸水状況



(事業着手前の状況)

【写真①】

岸壁に屋根がなく、降雨や直射日光の影響を受け、水産物の品質低下を招いている。

【写真②】

陸揚げ時に多くの鳥が飛来し、異物の混入など衛生管理に問題が生じている。

【写真③】

漁業取締船が防波堤に係留されており、漁船の出入港等に支障をきたしている。

【写真④】

大潮満潮時に岸壁が浸水し、安全に岸壁が利用できない。

【 検討状況 】

技術的難易度	標準的な工法で実施
費用便益比	B/C = 1.86
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む)</p> </div>	<p>牛深漁港の陸揚げの大半を占める、いわし類、さば類は、屋根がない岸壁を利用し陸揚げを行っており、降雨及び直射日光による鮮度低下や、鳥類の飛来等による異物の混入が問題になっている。また、漁業取締船の防波堤への係留や、大潮満潮時の岸壁の浸水など、漁業活動における安全性及び効率性が低下している。</p> <p>よって、水産物の品質向上及び安定供給、作業の安全性・効率性の確保のために、本事業は必要不可欠である。</p>
関係法令等の手続きの把握・完了状況	・漁港漁場整備法:事業基本計画(年度内承認見込み)

【 周辺状況 】

関連事業	水産物供給基盤機能保全事業
市町村、地元の状況	天草市とは、本事業と市の牛深漁港周辺整備計画との連携整備の協議が今年度中に整う見込みであり、地元漁協からの理解も得られていることから、事業推進体制は整っている。
説明会の開催状況と関係者の意向	天草漁協共同組合及び熊本県海水養殖漁業協同組合を通じて関係者に説明を行っており、了解を得ている。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。 【工事で発生する濁水等が海域に流出しないよう、汚濁防止対策を実施する。】	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

事業評価表

● 評点 重要性、必要性、緊急性、効率性、計画の検討度の評価

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
① 重要性	1) 事業計画の位置付け	5	a	5
	2) 事業の広域性	5	a	5
		10	計	10

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
② 必要性	3) 特定地域振興	5	a	5
	4) 漁港機能の強化	15	b	12
	5) 水産物の安定供給	10	a	10
	6) 労働環境の向上	10	b	8
		40	計	35

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
③ 緊急性	7) 他事業との調整・連携	5	b	4
	8) 防災等多面的機能発揮に向けた配慮	10	b	6
	9) 施設の安全性確保等	15	b	12
		30	計	22

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
④ 効率性	10) 費用対効果の算定	20	a	20
		20	計	20

配点	評点(①~④)
100	87